

CASBEE-建築(新築)2016年版 柏市立柏第七小学校増築校舎賃貸借		■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)						
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境					0.40		-	2.6 2.9
1 音環境				2.5	0.15		-	2.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				1.8	0.40		-	
1 開口部遮音性能				1.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能				1.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20		-	
1.3 吸音				3.0	0.20		-	
2 溫熱環境				2.4	0.35		-	2.4
2.1 室温制御				3.8	0.50		-	
1 室温		冬期22°C、夏期26°Cの設備容量を確保している		4.0	0.60		-	
2 外皮性能		断熱材を強化し、外皮性能を上げている		3.7	0.40		-	
3 ジーン別制御性				-	-		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				1.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.1	0.25		-	3.1
3.1 昼光利用				3.0	0.30		-	
1 昼光率				3.0	0.60		-	
2 方位別開口				3.0	-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-	
1 昼光制御				3.0	1.00		-	
3.3 照度		500lx≤[照度]<750lx		4.0	0.15		-	
3.4 照明制御				3.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.7	0.25		-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している		4.0	1.00		-	
4.2 換気				2.3	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-	
4.3 運用管理				5.0	0.20		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				-	-		-	
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00		-	
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.3
1 機能性				3.1	0.40		-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40		-	
1 広さ・収納性				-	-		-	
2 高度情報通信設備対応				-	-		-	
3 パリアフリー計画		パリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている		4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30		-	
1 広さ感・景観				3.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース				1.0	0.50		-	
3 内装計画				3.0	0.30		-	
1.3 維持管理				3.0	0.50		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30		-	3.5
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法に定められた1.25倍の耐震性を有する		4.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-	
1 軀体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		天井:RW化粧石膏ボード:30年、壁:ビニルクロス:20年、床:塩ビシート:20年		5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:塩ビ:B、汚水:塩ビ:B、雑排水:塩ビ:B、冷媒:銅:C、Eは不使用		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.0	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	1 高さのゆとり	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3 積載荷重: 2,900N/m <sup>2</sup>	3.5	0.30	-	-	3.5
	2 空間の形状・自由さ			3.4	0.30	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.60	-	-	
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	EPS、PF管により、構造部材・仕上げ材を痛めることなく配線の更新・修繕ができる	4.0	0.40	-	-	
	2 給排水管の更新性			4.0	0.30	-	-	
	3 電気配線の更新性		EPS、PF管により、構造部材・仕上げ材を痛めることなく配線の更新・修繕ができる	3.4	0.40	-	-	
	4 通信配線の更新性			3.0	0.20	-	-	
	5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.30	-	-	2.0
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPIm=0.55			5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.73			3.7	0.50	-	-	3.7
4 効率的運用	集合住宅以外の評価			2.5	0.20	-	-	2.5
	4.1 モニタリング			2.5	1.00	-	-	
	4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			2.0	0.50	-	-	
	4.1 モニタリング			-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護	1.1 節水		節水型便器に加えて、節水コマ、自動水栓等を主要水栓の過半に採用している	3.4	0.20	-	-	3.4
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.40	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.60	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
	3.0	0.30	-	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減		ベースパック柱脚工法、スーパーEデッキ、QLデッキ	3.7	0.60	-	-	3.7
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			4.0	0.10	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生碎石:路盤材、断熱材:スラブ下	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			4.0	0.20	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		軽量鉄骨下地により、躯体と仕上材が容易に分別可能、「再利用できるユニット部材」として、OAフロアを用いている	3.0	0.10	-	-	
	5.0	0.20	-	-	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.20	-	-	3.3
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.30	-	-	
	1 消火剤			3.5	0.70	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0, GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用	-	-	-	-	
	3 冷媒			4.0	0.50	-	-	
				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出量を参照値より抑制			3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮	2.1 大気污染防治			2.2	0.33	-	-	2.2
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.25	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.50	-	-	
	1 雨水排水負荷低減			2.0	0.25	-	-	
	2 污水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
				1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.1	0.33	-	-	3.1
	1 騒音			3.0	0.40	-	-	
	2 振動			3.0	0.50	-	-	
	3 悪臭			3.0	0.50	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			-	-	-	-	
	1 風害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	2 砂塵の抑制			3.0	0.75	-	-	
	3 日照阻害の抑制			3.0	0.25	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目を一部満たし、広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		2/2	3.0	0.30	-	-	